

|  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| ID No.   | 348                                   |
| 研究課題名  | インフルエンザウイルス由来・タンパク質と宿主ミトコンドリアとの相互作用解析 |
| 研究代表者  | 小柴 琢己 (九州大学大学院・准教授)                   |
| 研究組織   |                                       |
| 受入教員   | 一戸 猛志 (東京大学医科学研究所・准教授)                |
| 研究分担者  | 吉住 拓馬 (九州大学・大学院生)                     |
|  | 山崎 達也 (東京大学医科学研究所・特任研究員)              |
| 研究報告書  |                                       |
| <p>本申請課題に関する重要な知見を得て、2014年度にはA型インフルエンザウイルスの創り出すウイルスタンパク質PB1-F2の感染細胞内での役割に関する重要な知見を見出した</p> <p>(Nat. Commun. 2014)。今年度は、受入研究室の一戸准教授と共に、A型インフルエンザウイルスの他のタンパク質NS1に関する研究も展開し、NS1のインフラマソーム活性化に関する実験結果を報告した(J. Virol. 2016)。以上のように、本共同研究により、インフルエンザウイルスとミトコンドリアに関する興味深い様々な研究知見を得ることが出来た。</p> |                                       |